



NEWS(PRESS) RELEASE

資料No. 1

平成28年7月12日

志摩市 健康福祉部 介護・総合相談支援課

タイトル	高齢者の見守りと支援に関する協定の締結について
概要	志摩市では高齢化が進むなか、医療・保健・介護などの関係機関や地域などと連携し、地域包括ケアシステムの構築やその推進に取り組んでいます。 また、認知症高齢者や高齢者のみの世帯の増加が予想される中、高齢者の見守り支援、日常生活の支援などの活動を推進していくことが必要で、それらの事業は、地域や事業者との連携が必要であるとともに、協力を求めることが今後の課題でもあります。 このたび、株式会社ぎゅーとらと志摩市は連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりを目的とした見守りと支援に関する協定を締結することとなりました。 今後も地域や事業者の取組みを推進するとともに、連携を図り、高齢者福祉に取り組んでまいります。 ※詳しい事業内容等は別紙資料参照
開催日	平成28年7月22日（金曜日）
開催時間	10時30分（予定）
開催場所	志摩市役所 5階 庁議室
主催	志摩市
後援	
協賛	
その他	
参考HP	
お問合せ先	志摩市 健康福祉部介護・総合相談支援課 担当 前川 昌彦 TEL 0599-44-0284 FAX 0599-44-5260 e-mail kaigosogo@city.shima.lg.jp

(別紙1)

1. 株式会社ぎゅーとらとの協定に基づく主な取組事項

- (1) 移動販売「とくし丸」の開始に伴う地域での見守り支援
- (2) 市内ぎゅーとら店舗での高齢者等の見守り支援
- (3) 志摩市内 店舗の職員を認知症サポーターとして志摩市へ登録
(とくし丸イメージ写真)



2. 協定書締結式

- (1) 日 時 平成28年7月22日(金) 10時30分
- (2) 場 所 志摩市役所 5階 庁議室
- (3) 締結者 株式会社ぎゅーとら 代表取締役社長 清水 秀隆
志摩市長 大口 秀和

(別紙2)

とくし丸 事業概要

とくし丸とは、日常の買い物に不自由しているいわゆる「買い物難民」と呼ばれる人たちに買い物を楽しんでもらうべく考えられた結果である。そもそも買い物という行為は生活の中で楽しみの一つでもあります。また現物を「見て・触って・感じて・選んで」もらうことが大切になります。

そこで考えられたのが玄関先まで300～400品目以上の商品を積んだ軽トラックで出向き、会話し、買い物をしてもらう「移動スーパー」でした。そして買い物だけに止まらず、我々「とくし丸」のスタッフが、「見守り隊」としての役割を果たすことを目指します。

・とくし丸の事業目的は

- 1、 命を守る【買い物難民支援＋見守り協力】
- 2、 食を守る【地域スーパーとしての役割を果たす】
- 3、 職を守る【社会貢献型の仕事を創出】

今回の事業で食品供給元となるのは、各地域で営業するスーパー。販売するのは個人事業主となる販売パートナーさん、あるいは、完全歩合制の販売員。そして、その全体をプロデュースするのが、「とくし丸本部」ということになります。

今の時代日々の暮らしの中で本当に大切なものは何なのか？

暮らしを守る仕組みとはどんな形なのか？

それらに「とくし丸」が少しでも応えられればと思います。

「とくし丸」という名前には、「篤志丸」という意味も込められています。

この事業の社会貢献性を考慮の上、「とくし丸」の「販売パートナー」として「買い物難民支援」、「見守り協力」に乗り出してみませんか。